

京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「A」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、
人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。

コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、
“人とのかきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”
“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”
そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

2019

ミニディスクロージャー誌
2020年3月期
営業の中間ご報告



LINE@ 京葉銀行 公式アカウント

@keiyobank ぜひお友だち登録してくださいね!
楽しいコンテンツやLINE限定の特典も!

LINEアプリで公式アカウントを検索
京葉銀行

またはLINEアプリのQRコードリーダーで!



京葉銀行

本店 〒260-0015
千葉市中央区富士見1-11-11
千葉みなと本部 〒260-0026
千葉市中央区千葉港5-45
TEL. 043(306)2121
<https://www.keiyobank.co.jp/>



2019年11月発行

お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、 活力あふれる銀行

Contents

トップメッセージ／第18次中期経営計画 … 3	2019年9月期 業績のご報告(単体) … 13
持続可能な社会を目指して … 5	財務諸表(単体) … 15
地域活性化のために … 6	株主の皆さまへ … 16
さらなる発展へ向けて … 9	株式情報・役員 … 17
地域社会への貢献(CSR) … 11	店舗・本部地図 … 18

当行のプロフィール

名称／株式会社京葉銀行
英文名称／The Keiyo Bank, Ltd.
設立／1943年3月31日
資本金／497億円
本店／千葉市中央区富士見1丁目11番11号
千葉みなと本部／千葉市中央区千葉港5番45号
従業員／2,046名
総資産／4兆9,978億円
預金／4兆6,662億円
貸出金／3兆6,462億円
自己資本比率／単体 10.98%
(国内基準) 連結 11.00%
格付／A-(S&Pグローバル・レーティング) A+(株式会社日本格付研究所)
拠点／店舗 122カ店 (本支店:120カ店 出張所:2カ店) 外貨両替出張所 4カ所
店舗外ATMコーナー 160カ所



(2019年9月30日現在)

トップメッセージ



確かな“きずな”を、未来へ。

取締役頭取

熊谷俊行

はじめに

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、令和元年台風15号・19号および21号に伴う記録的な大雨により被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

このたび、「ミニディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご案内を申し上げます。ご高覧のうえ当行に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調となりましたが、米中貿易摩擦などの影響により輸出面には弱さもみられました。当行の経営基盤である千葉県経済は、9月以降に発生した台風の被害により、生産・消費の一部に影響が生じたものの、企業倒産件数は低い水準で抑えられており、雇用情勢や個人消費も堅調に推移するなど、緩やかな回復基調が続き

ました。一方、低金利の継続や異業種の参入など、金融機関を取り巻く環境は引き続き厳しいものとなりました。また、人口減少、少子高齢化の進展、デジタル技術の高度化など社会構造は大きく変化しております。

このような環境下、当行は、第18次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2021」を推進しており、本年度は3か年計画の中間年度となります。基本方針に「お客さま・従業員の満足度No.1の銀行」を掲げ、4つの基本戦略を着実に実行することで、経営環境の変化にも揺るがない、持続可能なビジネスモデルの構築を実現してまいります。

中期経営計画中間年度の取り組み

地域金融機関は、地域活性化に向けた各種施策を積極的に推進していくことが求められています。当行では、円滑な事業承継の実現のため、次世代の経営者を育成する「アルファバンクの後継者塾」の開講やM&Aなど中小企業の

成長・発展をサポートする体制を強化しています。また、各自治体や外部機関、他企業との連携により、ICTやSNSを活用した地方創生にも力を入れております。例えば、香取市では、歴史的資源の活用による観光振興を目指し、古民家宿泊施設の開業支援のほか、地元事業者と協働による情報発信などの取り組みを継続的に行っています。いすみ市では、官民一体となって農業や漁業、観光などの分野における事業活動を支援しております。

また、人材の活用においては、お客さまへ「プラスアルファ」の付加価値を提供できるよう、全従業員が活躍するプロフェッショナル集団への変革を掲げております。女性行員のキャリア開発支援や70歳までの継続雇用制度の導入など性別・年齢に関係なく、多様な「人材」が活躍できる環境整備に努めています。また、お客さまのニーズに応じて、“いつでも、どこでも”“便利で安心、快適”な金融サービスをご利用いただけるオムニチャンネルを推進しております。非対面

チャンネルは、Web完結のローン商品を拡充するなどデジタル技術を活用したサービスを充実させる一方、対面チャンネルでは、本年9月のSBIマネープラザとの共同店舗の開設や10月の鎌ヶ谷支店の新築移転など、お客さまにとって充分なコンサルティングを実感いただける店舗づくりを実現しております。これからもお客さまに寄り添った営業の実践に励んでまいります。

結びに

こうした取り組みに加えて、「環境・社会・ガバナンス」(ESG)の充実と、国連が提唱する「持続可能な開発目標」(SDGs)を意識した経営を行うことで、全てのステークホルダーの皆さまのご期待にお応えできるよう、京葉銀行グループ役職員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

第18次中期経営計画

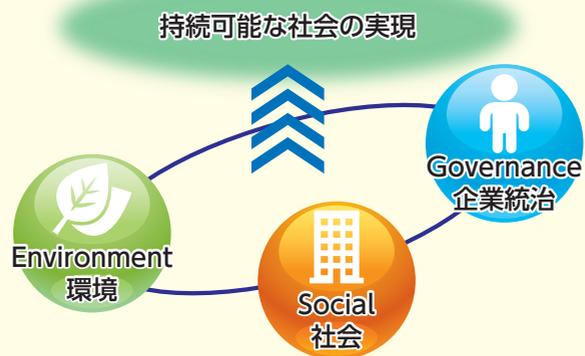
α ACTION PLAN 2021 「さらなる飛躍」

基本方針(スローガン)「お客さま・従業員の満足度No.1の銀行」

計画期間	2018年4月～2021年3月(3年間)				
基本戦略	1. お客さまに寄り添った営業の実践				
	2. オムニチャンネルの構築				
	3. 全従業員が活躍するプロフェッショナル集団への変革				
	4. ローコストオペレーションと利益拡大				
計数目標	当期純利益 150億円	役務取引等収益 150億円	OHR 60%程度	預金残高 5兆円	貸出金残高 4兆円

持続可能な社会を目指して

当行は、目指す銀行象として、お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行を掲げております。ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みや、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を意識した経営を実践することが目指す銀行象への第一歩であると考え、地域社会の一員として持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



SDGs (エスディーゼイズ) とは?

人類は、貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇など、数多くの課題に直面しています。このままでは、安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまう…そんな問題意識から、国連において、すべての人々にとってより良い世界をつくるために課題を整理し、採択された「2030年までの達成を目指す17の目標」が、「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」です。



地域活性化のために

地元千葉県とともに豊かになり、地域のお客さまにとって一番身近な銀行となるべく、さまざまな取り組みを通じて、地域活性化に貢献しています。



地方創生

それぞれの地域特性を活かした産業の振興を図るため、地域金融機関ならではのリリースンシップにより地域の抱える課題を共有し、地方公共団体や外部機関とも連携しながら、地方創生に貢献するさまざまな取り組みを進めています。



落語で学ぶ相続と事業承継
(2019年11月開催)

●事業承継支援

地域経済を支える中小企業の円滑な事業承継をサポートするため、外部専門機関と連携して、「事業承継セミナー」や次世代の経営者を育成する「アルファバンクの後継者塾」を開催しています。

●香取市 ～観光によるまちおこし～

香取市や地域経済活性化支援機構(REVIC)等と組成した「千葉・江戸まさ優り佐原観光活性化ファンド」を活用し、歴史的資源による地域活性化を推進しております。

2019年4月には、ファンドの支援によりオープンした古民家宿泊施設が10棟まで拡大しました。



GOKO棟



GEISHO棟

・IoTで佐原を応援

佐原の観光を盛り上げるため、香取市とNTT東日本と共同でIoTを活用した支援に取り組んでいます。

2019年4月にオープンした観光施設「上川岸小公園」では外国語対応などを支援するため、遠隔地にいるオペレーターがアバターを通じて観光ガイドができる仕組みを導入しました。



・SNSで地域の魅力を発信

2019年4月、SNSを使い影響力のある情報を発信する「インフルエンサー」を育成するためのセミナーを佐原地区で開催しました。地元の20～30代を中心に30人以上が参加し、効果的な発信方法を学びました。

●いすみ市 ～ITを活用した地域活性化～

2019年5月、ITを活用して地域活性化に貢献するため、NTT東日本およびいすみ市と三者で連携協定を締結しました。農業や漁業、観光、地域IT人材の育成などの分野における事業活動を支援してまいります。



●君津市 ～食の安全と豊かなまちづくり～

2019年5月、「食」の安全と豊かなまちづくりの実現を後押しするため、君津市において、無農薬で安全・安心、安定的に出荷が可能な葉物野菜を栽培することを目的に建設された量産型大規模工場に対し、金融面からサポートいたしました。

●浦安市 ～医療・介護によるまちづくり～

2015年12月に浦安市・浦安中央病院・ミサワホームと締結した4者連携協定に基づき、病院を中心に「医療・介護・子育て・防災・住まい・商業」機能を一体で提供するスマートウェルネス拠点の構築に向けた支援を行っています。

2018年3月、病院棟（浦安中央病院）・商業棟（ASMACI浦安）が竣工しました。

現在進行中の事業概要

- 介護付き有料老人ホームを中心とした複合福祉施設
- アクティブシニア向けの分譲マンション



京葉銀キャピタル&コンサルティングの設立

2019年4月、当行グループ体でお客さまの多様なニーズや経営課題に対して、最適なソリューションを提供し地域の発展に貢献するため、子会社を設立しました。専門スタッフがお客さまに寄り添いながら解決からアフターフォローまでしっかりサポートします。



さらなる発展へ向けて

少子高齢化やデジタル化など、大きく変化する社会環境に対応し、持続的に成長していくために、さまざまな取り組みを行っています。



多彩な人材の活躍支援

全従業員が活躍するプロフェッショナル集団への変革を掲げ、さまざまな価値感をもった多様な「人材」の活躍推進を行っています。

●シニアスタッフ行員の活躍推進

65歳到達後も継続して働く意欲のある行員が豊富な知識と経験を活かし70歳まで勤務できる制度を導入しています。2019年9月末現在、55名のシニアスタッフ行員が個々の希望・能力に応じて、若手行員への指導や相続・事業承継相談などの分野で活躍しています。

●女性行員の活躍推進

女性行員の活躍は、人材戦略の重要なテーマと位置づけ誰もが安心して前向きに仕事に取り組めるよう職場環境の整備に努めています。また、キャリア形成支援の一環として、リーダーを目指す「ウィメンズリーダーシップ研修」や若手育成を通じたコミュニケーション能力の向上を目指す「ダイバーシティマネジメント研修」などを実施しています。



ウィメンズリーダーシップ研修

外部からの評価



女性活躍推進法に基づく認定

「えるぼし」

女性活躍に関する取り組みが優良な企業の認定



次世代法に基づく認定

「プラチナくるみん」

高い水準で子育てサポートに取り組んでいる企業の認定

「オムニチャネル化への取り組み

お客様のニーズに応じて、“いつでも・どこでも・便利で安心・快適”にご利用できるよう、企業連携やデジタル技術を活用し、対面チャネルである店舗と非対面によるサービスを充実させています。



●県内金融機関初! SBIマネープラザとの共同店舗の設立

2019年9月、(株)SBI証券の子会社であるSBIマネープラザ(株)と共同店舗を設置しました。豊富な商品ラインナップを対面でご提案することで、より付加価値の高いコンサルティングを提供してまいります。



●Web完結ローン対象商品の拡大

2019年11月、お申し込みからご契約までをWebで完結できるWeb完結ローン対象商品に住宅ローン利用中のお客さま専用の「住宅ローン特典フリーローン」を追加しました。「ご来店不要」「契約書への記入・押印不要」といった手続きの簡素化を実現することで、普段、銀行へのご来店が難しいお客さまの利便性を向上させてまいります。

地域社会への貢献 (CSR)

地域のお客さまから信頼され、地域社会の発展のため、さまざまな「地域貢献社会貢献活動」を展開しています。



台風15号・19号および21号に伴う記録的な大雨の災害復旧支援への取り組み

台風15号・19号および21号に伴う記録的な大雨により被災された方々や被災地域の復旧・復興を支援するため、千葉みなと本部内に「復興支援プロジェクトチーム」を立ち上げ、さまざまな取り組みを行っています。



主な取り組み内容

①携帯電話の充電スペースをご用意

地域停電が長引く中、銀行店舗内に近隣のお客さまに利用していただくため、携帯電話の充電スペースをご用意しました。

②「災害復旧相談窓口」および「災害復旧融資専用ダイヤル」の設置

被災された個人、法人のお客さまの相談にお応えするため、全営業店に災害復旧相談窓口を、千葉みなと本部内に災害復旧融資専用ダイヤルを設置しました。

③被災者向け支援融資の取り扱い(2020年9月30日まで)

特別金利の取り扱いなどご融資条件の弾力化を図り、被災者向け支援融資を取り扱っています。

④職員のボランティア派遣の実施

2019年9月21日～23日、11月2日～4日、9日・10日、千葉銀行、千葉興業銀行と連携して被災地へ職員をボランティア派遣しました。災害ボランティアセンターで受付や人材配置などの運営ボランティアとして活動しました。



⑤義援金の拠出

被災地の復旧・復興支援にお役立ていただくため、義援金として1,000万円を千葉県共同募金会を通じて寄付させていただきました。

また、当行および関連会社の役職員による総額200万円も寄付させていただいております。

カレンダーへの千葉県出身の若手画家採用

1974年のカレンダーより、千葉県にゆかりの深い有名画家の作品をご紹介してきました。2005年からは、今後ますます活躍が期待される若手画家を中心に紹介しています。2020年は、松戸市在住の日本画家 鹿間 麻衣氏の作品をご紹介します。



若い芽のαコンサートへの協賛

1989年より、将来性のある若い演奏家の育成と芸術文化の振興を目的に、(公財)千葉県文化振興財団が主催する「若い芽のαコンサート」(毎年6月、千葉県文化会館大ホール)に協賛しています。



電話de詐欺未然防止による感謝状の贈呈

2019年6月、当行の千代田支店が電話de詐欺を未然に防いだことで四街道警察署より表彰されました。当日は、四街道少年少女合唱団による演奏に続いて、合唱団の代表者から感謝状の贈呈が行われました。



2019年9月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は順調に増加しました。

収益面では、与信費用の増加により経常利益は前年同期比17億7百万円減少し60億42百万円、中間純利益は11億77百万円減少し41億83百万円となりました。

預金残高・個人預金残高

4兆6,662億円
(年間増加率2.1%)

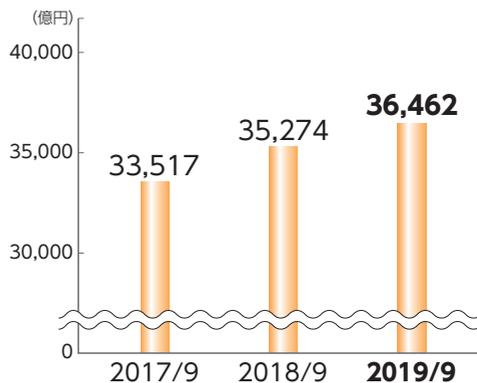
給与振込や年金振込等により預金残高は、前年同期比967億円増加し、4兆6,662億円(年間増加率2.1%)、個人預金残高は前年同期比909億円増加し、3兆6,295億円(年間増加率2.5%)となりました。



貸出金残高

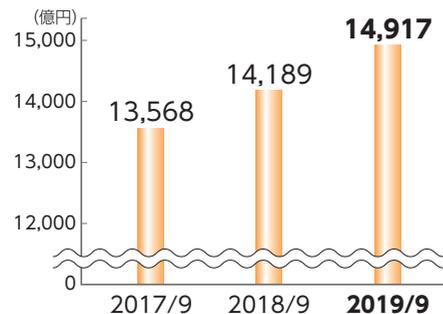
3兆6,462億円
(年間増加率3.3%)

住宅ローン等の個人向けや中小企業向けの貸出を中心に取り組んだ結果、前年同期比1,187億円増加し、3兆6,462億円(年間増加率3.3%)となりました。



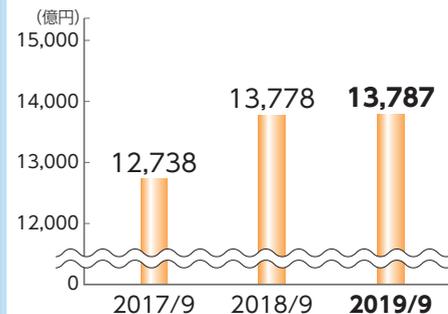
住宅ローン残高

お客様の住宅資金ニーズに積極的にお応えした結果、住宅ローン残高は、前年同期比728億円増加し、1兆4,917億円となりました。



中小企業向け貸出金残高

事業性評価をもとにしたコンサルティングの拡充に取り組んだ結果、中小企業向け貸出金残高は、前年同期比8億円増加し、1兆3,787億円となりました。



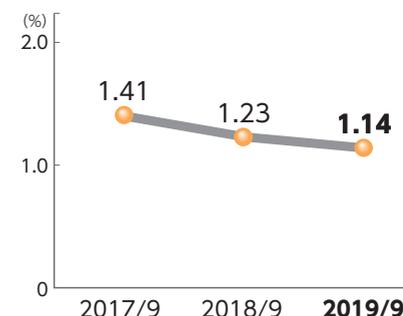
経常利益・中間純利益

与信費用の増加により経常利益は、前年同期比17億7百万円減少し、60億42百万円、中間純利益は、11億77百万円減少し、41億83百万円となりました。



不良債権比率(金融再生法基準)

金融再生法基準の不良債権比率は、前年同期比0.09ポイント低下し、1.14%となりました。



中間貸借対照表

（単位：百万円）

	第112期 (2017年9月30日現在)	第113期 (2018年9月30日現在)	第114期 (2019年9月30日現在)
資産の部	4,753,096	4,902,628	4,997,834
うち貸出金	3,351,748	3,527,463	3,646,215
うち有価証券	969,428	916,995	877,704
資産の部合計	4,753,096	4,902,628	4,997,834
負債の部	4,463,961	4,609,832	4,704,972
うち預金	4,387,654	4,569,482	4,666,266
純資産の部	289,135	292,796	292,861
うち株主資本合計	239,342	247,727	252,978
負債及び純資産の部合計	4,753,096	4,902,628	4,997,834

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間損益計算書

（単位：百万円）

	第112期 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	第113期 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	第114期 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
経常収益	32,612	33,453	34,213
うち資金運用収益	25,002	24,396	23,910
うち役員取引等収益	4,972	5,323	5,079
経常費用	23,458	25,702	28,171
経常利益	9,153	7,750	6,042
特別損益	△153	△84	△63
法人税等合計	2,713	2,304	1,796
中間純利益	6,287	5,361	4,183

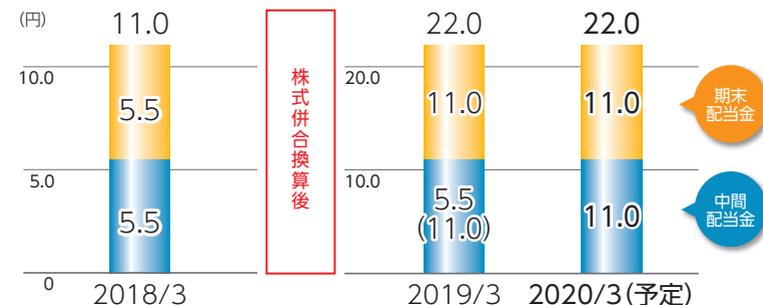
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

（第114期 注記）

1. 1株当たり純資産額 2,241円22銭
2. 1株当たり中間純利益 31円87銭
3. 2019年9月末における単体と連結の総資産の差額は43億円と連結総資産5兆21億円の0.1%未満と軽微なため、単体のみ表示しています。

年間配当金（1株当たり）

1株当たりの中間配当金は、当初計画通り、11円としました。
なお、2020年3月期の期末配当金は11円を予定しています。



※2019年3月期年間配当金については、2018年10月1日付株式併合を反映して記載しております。

株主優待制度

日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主優待制度をご用意しています。

優待1

ギフトカードの贈呈

●3月31日において1年以上継続して500株以上保有されている株主さまご本人

株主さまの保有株数に応じて年1回プレゼント!

- 500株以上 2,500株未満 … **1,000円相当**
- 2,500株以上 5,000株未満 … **3,000円相当**
- 5,000株以上 … **5,000円相当**

優待2

株主優待定期預金

●500株以上保有されている株主さまご本人
●お取扱期間は年2回

スーパー定期

店頭表示金利 +年0.2%

- 500株以上 5,000株未満 … **100万円まで**
- 5,000株以上 … **200万円まで**

満期日前にご解約された場合、当行所定の中途解約利率が適用されます。

※くわしくはお近くの営業店、もしくは京葉銀行総務グループへお問い合わせください。

☎0120-367-300 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝日および12月31日～1月3日は除きます）

個人投資家向け会社説明会

県内の個人投資家の皆さまに当行の業績や営業状況をより理解していただくことを目的に、証券会社の協力を得て「会社説明会」を開催しています。

株式の状況 (2019年9月30日現在)

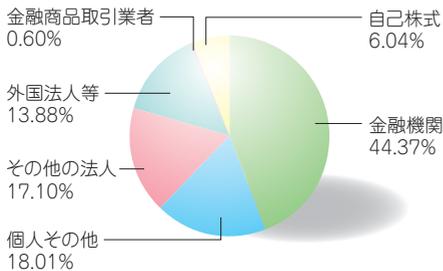
株式数
 発行可能株式総数…………… 395,014千株
 発行済株式の総数…………… 138,927千株
 (注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 株主数…………… 14,165名

大株主 (2019年9月30日現在)

氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,624	5.84
株式会社千葉銀行	6,106	4.67
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,278	3.27
三井住友海上火災保険株式会社	3,759	2.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,685	2.82
京葉銀行職員持株会	3,575	2.73
住友生命保険相互会社	3,561	2.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,532	2.70
千葉県民共済生活協同組合	3,100	2.37
明治安田生命保険相互会社	2,969	2.27

(注) 1. 上記のほか、当行所有の自己株式8,393千株があります。
 2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 3. 持株比率は自己株式(8,393千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株式の分布状況 (2019年9月30日現在)

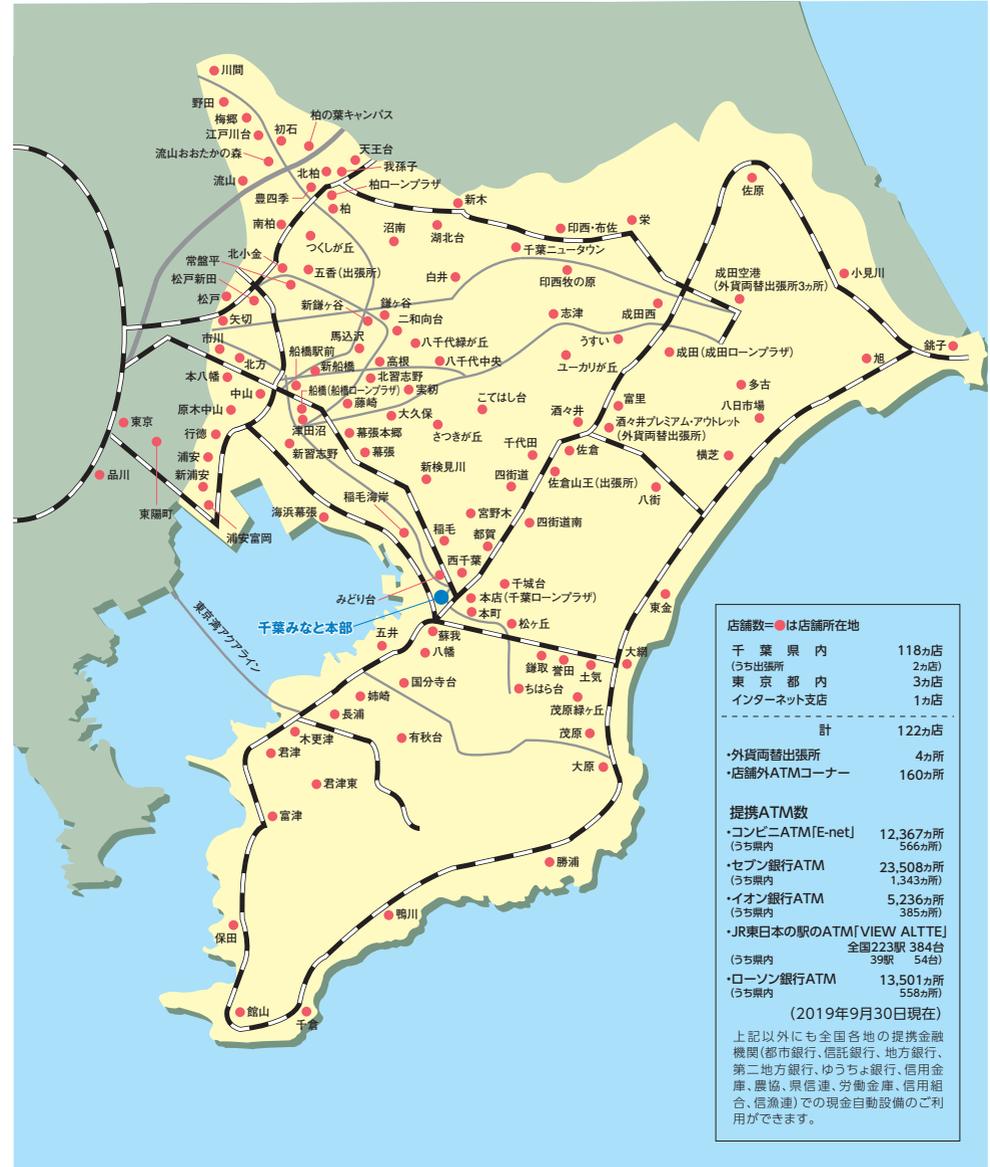


株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (ホームページアドレス https://www.keiyobank.co.jp/) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人事部 ☎0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)
(郵送物送付先) お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人事部 ☎0120-707-843

役員の状況 (2019年9月30日現在)

■ 取締役		
取締役頭取 (代表取締役)	取締役副頭取 (代表取締役)	取締役 専務執行役員
熊谷 俊行	橋本 清	大島 浩司
取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員
君塚 一郎	秋山 智	市川 達史
社外取締役	社外取締役	社外取締役
齋藤 康	秋山 勝貞	内村 廣志
■ 監査役		
常勤監査役	常勤監査役	
深山 正嗣	高橋 弘一	
社外監査役	社外監査役	社外監査役
小野 功	重田 雅行	花田 力



県内のバリアフリー施設を千葉県が紹介する「ちばバリアフリーマップ」に当行の店舗が掲載されています。

千葉県健康福祉部「ちばバリアフリーマップ」

<http://www.pref.chiba.lg.jp/pbbfmap/>